事例No.	2655
公表年度	R5
団体の属性	町村
団体名	京都府南山城村

事例区分	行政改革

タグ	・関係人口 ・観光 ・ICT

事例種類	地域活性化

事例内容・タイトル

京都府南山城村

出典

平成２９年度ふるさとづくり大賞事例集

地方自治体表彰

京都府南山城村

概　　要

道の駅「お茶の京都　みなみやましろ村」を中心として本村の特産品による商品開発、販売促進、ブランド化により産業の再生を進めるとともに、高齢化に起因する交通難民、買い物弱者対策として、食料品や生活用品を取扱う「村民百貨店」の整備、道の駅をルートに加えた公共交通網の再構築を行うとともに、タブレット端末を活用した「御用聞きAI®」の実用化に向け、弁当の受発注・配達等の実証実験を行い、生活支援に必要となるプラットフォームを開発した。



評価された点

・「道の駅」を拠点とした成功事例。ＩＣＴの活用が先進的。
・道の駅を核とした6次産業化、村民百貨店での買い物弱者対策、御用聞きAIによる、電子コマースなど、発想がユニークで、中山間地域の再生、地方創生モデルとして秀逸である。
・2,000種を超える商品を販売する「村民百貨店」は、特産品の開発、雇用の創出、買い物弱者対応など、文字通り市民の生活を支える存在であり、これを基点とする様々な取組は、高齢・人口減少社会における地方創生の事例として評価される。
・住民の幸せこそが地域の魅力。「暮らすように旅する」という言葉が流行し始めているように、村民のための百貨店御用聞き方式等は、高齢化の進む他の地域への大いなる参考例である。
・地域内循環型の産業システムが構築されており、交通難民、買い物弱者などの取組が高く評価できる。

